


報 道 機 関 各 位

令和4年（2022年）2月24日（木）15時00分配付

項 目	令和4年オホーツク農業新技術セミナーの開催について
配付資料	令和4年オホーツク農業新技術セミナー発表課題一覧
内容及び 報道に当 たつての お 願 い	<p>北見農業試験場等では、研究成果として開発した新技術を速やかに公表し、多くの方に活用していただくため、「令和4年オホーツク農業新技術セミナー」を次のとおり開催することとしましたので、お知らせします。</p> <p>なお、本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、web開催とします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催方法 北見農業試験場のホームページに「オホーツク農業新技術セミナー」のページを掲載します。</p> <p>2 開催情報 以下のURLに開催情報を掲載します。 https://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/kitami/event/shingijutsu.htm</p> <p>3 配信 以下のYouTubeチャンネルで公開します。 ライブ配信ではなく、録画を見ていただくものあり、期間中であればいつでもご覧いただけます。 https://www.youtube.com/channel/UC7uJseuqaUtUmTbXq8b-gnw</p> <p>4 公開期間 令和4年2月25日（金）～令和4年3月25日（金）</p> <p>5 発表課題 別添、令和4年オホーツク農業新技術セミナー発表課題一覧のとおりです。</p>
担当窓口	<p>地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 北見農業試験場 生産技術G 研究主幹 柳田 大介 代表電話 0157-47-2146 内線71</p> 

令和4年オホーツク農業新技術セミナー 発表課題一覧

No	成績会議課題名又は発表タイトル	発表動画 ファイル	ポスター 展示	要旨 作成	担当場
1	国産初！ジャガイモシロシストセンチュウを増やしにくいばれいしょ「北海112号」	○	○	○	北農研セ
2	多収で褐斑病抵抗性が改良されたてんさい新品種「H154」	○	○	○	北見農試
3	春まき小麦「春よ恋」を倒さずに穫る	○	○	○	北見農試
4	多雨でも安心 移植たまねぎの省力窒素施肥法	○	○	○	北見農試
5	草地更新後におけるチモシーの維持対策	○	○	○	酪農試
6	令和3年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫	○	○	○	中央農試
7	コムギなまぐさ黒穂病菌を減らすには －水田化による低減効果と堆肥化の死滅温度－	○	○	○	中央農試
8	テンサイ褐斑病防除は”強”品種とマンゼブで省力化！	○	○	○	十勝農試
9	ジャガイモ黒あし病ってどんな病気？ ～新しく解ったこと紹介します～	○	○	○	十勝農試
10	早く枯れる症状が発生していませんか！ －半身萎凋病が要因です－	○	○	○	北見農試
11	小豆を省力的に作るにはいくらかかるの？	○	○	○	十勝農試
12	家畜による農作業事故を防ごう！ 「家畜労働安全のすすめ」について	○	○	○	網走農改 遠軽支所